NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞記事を題材にして、意見文を書こう

2．学校名

愛知県一宮市立大和南中学校

3．実践者名（代表者名）

伊藤　彰敏

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科　52人

6．単元（本時の学習課題）名

構成の整った意見文を書こう

7．目標（狙い）

「イルカ漁は残酷か」という新聞記事を読み、それぞれの立場の考えをつかむ。その後、自分の立場を決め、その根拠を挙げる。そして、「導入・本文・まとめ」という構成で意見文を書く。

8．評価の視点

根拠を明らかにして、構成の整った意見文を書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「構成の整った意見文を書こう」　5時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新聞記事「イルカ漁は残酷か」を読み、それぞれの立場の考えをつかむ。(1時間)
(2)それぞれの立場に対する自分の考えを「作文構想メモ」に書き出す。
(3)自分の立場を決め、その立場を選択した理由を「作文構想メモ」に書き出す。(1時間)
(4)「導入・本文・まとめ」という大きなまとまりで、構成を考える。(1時間)
(5)「作文構想メモ」をもとに、下書きを書く。(1時間)
(6)推敲し、清書する。(1時間)
(留意点)
・新聞記事だけでなく、広く情報を収集するように助言する。
・「残酷であるか→イエスorノー」というように、立場を明確にさせる。
・「マッピング法」を取り入れ、自分の考えを整理させる。
・本文は、「ナンバリング」「ラベリング」を意識させ、相手意識を持って記述させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

立場を明確にさせたことで、説得力を持って意見文を書こうとする気持ちを高めることができた。また、「導入・本文・まとめ」という構成で書くことの分かりやすさを実感することができた。

12．成果と課題

身近な新聞記事を題材に選んだので、現実を踏まえた記述内容になった。さらに、その後も、題材に関連した新聞記事を切り抜いてくる生徒が何人も見られ、新聞に親しむ機会ともなった(本校は、新聞の切り抜きを継続して行っている)。